



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 大真空
コード番号 6962 URL <https://www.kds.info>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 実

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務本部 本部長 (氏名) 林 邦春 TEL 079-426-3211

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	39,343	2.4	2,135	49.3	3,192	37.5	1,876	41.5
2023年3月期	38,430	7.0	4,210	19.0	5,106	22.0	3,208	16.6

(注) 包括利益 2024年3月期 5,068百万円 (26.0%) 2023年3月期 4,021百万円 (46.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	58.12		5.0	3.7	5.4
2023年3月期	99.41		9.3	6.2	11.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	91,064	47,048	42.5	1,199.24
2023年3月期	83,622	43,182	42.9	1,112.24

(参考) 自己資本 2024年3月期 38,708百万円 2023年3月期 35,901百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	8,243	3,994	1,104	24,355
2023年3月期	5,859	6,524	1,298	18,437

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		14.00		14.00	28.00	903	28.2	2.6
2024年3月期		14.00		14.00	28.00	903	48.2	2.4
2025年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00		180.8	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.7	1,500	29.8	1,000	68.7	500	73.3	15.49

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 有
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	36,196,968 株	2023年3月期	36,196,968 株
期末自己株式数	2024年3月期	3,919,393 株	2023年3月期	3,918,416 株
期中平均株式数	2024年3月期	32,278,103 株	2023年3月期	32,279,113 株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	29,227	4.6	130	95.3	1,144	72.1	873	71.5
2023年3月期	30,651	0.6	2,754	29.1	4,107	6.8	3,059	4.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	27.06	
2023年3月期	94.78	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	64,176		33,106		51.6		1,025.68	
2023年3月期	60,957		32,772		53.8		1,015.31	

(参考) 自己資本 2024年3月期 33,106百万円 2023年3月期 32,772百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2024年5月21日開催予定の決算説明会後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における世界経済は、インフレによる物価高騰や政策金利上昇などにより景気回復が鈍化傾向となりました。製造業を中心に設備投資は低迷しており、地政学リスクも依然として高く、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、産業分野は設備投資の低迷による調整が顕在化しましたが、民生分野はPC向けを中心に回復基調にあるものの低調に推移しました。一方、通信分野は中国スマホ向けが回復傾向となりました。また、車載分野は半導体不足の解消により自動車の生産台数が回復し、堅調に推移したことから、売上高は39,343百万円（前期比2.4%増）となりました。利益面につきましては、稼働を低下させたことや一部製品の価格変動の影響により、営業利益は2,135百万円（前期比49.3%減）となりました。為替差益1,295百万円を営業外収益に、投資有価証券売却益988百万円を特別利益に計上したものの、経常利益は3,192百万円（前期比37.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,876百万円（前期比41.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は91,064百万円であり、前連結会計年度末と比較して7,442百万円増加しております。これは主に現金及び預金の増加などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は44,016百万円であり、前連結会計年度末と比較して3,576百万円増加しております。これは主に借入金の増加などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は47,048百万円であり、前連結会計年度末と比較して3,865百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

これらにより自己資本比率は0.4ポイント減少して、42.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8,243百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,994百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,104百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入などによるものであります。

これらの結果、当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計期間末に比べ5,917百万円増加し、当連結会計期間末には24,355百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	39.8 %	40.6 %	40.7 %	42.9 %	42.5 %
時価ベースの 自己資本比率	19.0 %	29.1 %	48.0 %	28.1 %	28.4 %
キャッシュ・フロー 対 有利子負債比率	35.6 年	9.7 年	3.2 年	5.3 年	4.1 年
インタレスト・カバ レッジ・レシオ	5.7	23.7	66.7	28.0	28.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境におきましては、各国のインフレに対する金融政策動向やその他地政学リスクなどが懸念され、依然として経済活動の安定化には時間を要すると思われま。

当社グループを取り巻く環境としては、設備投資が低調であることから産業市場の動きは鈍化していますが、スマホや無線通信モジュールなどの通信市場やPC/周辺機器などの民生市場においては緩やかな回復傾向が継続しており、車載市場におきましてはADAS（先進運転支援システム）や電装化のさらなる進展により堅調に推移する見込みです。

当社におきましては、10年長期経営計画「OCEAN+2戦略」における第一中期経営計画「基盤整備」が2024年3月に終了し、2024年4月より第二中期経営計画「基盤確立」がスタートしています。第一中期経営計画を振り返りますと、新型コロナウイルスによる混乱があったものの、水晶デバイスの旺盛な需要に加え、品薄感に端を発する価格是正の効果も作用し、1年目には中期計画を前倒しする形で過去最高益を達成できました。その後、巣ごもり特需の一巡やエネルギーコストの上昇、半導体不足による稼働低下などが業績に影響を与え、2年目、3年目は減速する形となりました。

第一中期経営計画は計画未達となりましたが、世界最大となる6inchウエハ用人工水晶の量産化や当社オリジナル製品であるArkシリーズ、モールドタイプ発振器のラインアップ拡充など第二中期経営計画に向けた準備を粛々と進めてまいりました。また、中国エリアへの偏りが業績変動の要因となっていることからマーケットポートフォリオの見直しや価格競争力の高い製品への投資などにより、第二中期経営計画での最高益更新を目指します。

また、長期的な展望といたしまして、自動運転を含め無線通信が必要不可欠な「IoT」を中心にタイミングデバイスの増加を疑う余地はありません。当社では基幹システムの刷新やDXの推進、新本社工場の竣工による将来的な生産革新への準備などにより、今後も「つながる社会」に必要なタイミングデバイスを安定して供給できる体制作りを構築してまいります。さらに、生産数量に比例し増加するCO₂排出量の抑制から、回収／分離といったカーボンニュートラルに向けた新たな取り組みにチャレンジし、重要課題と考えている「安定供給」と「環境対応」の実現に努め、当社オリジナルの新たな価値を創造してまいります。

最後になりますが、当社は経営ビジョンに『「信頼」を合言葉とし、「人と人のつながり」を大切にする精神をもとに、社員全員の瞳が輝く企業を目指す』を掲げています。社員全員が瞳を輝かせながらイキイキと働ける環境と仕組み作りが非常に大切だと考えており、「キモチヨク働く」と「オモシロク働く」の2つの側面からの取り組みを推進しています。また、「インテグリティ」の浸透にも力を入れて取り組んでおり、さまざまな場面で教育を実施しています。最終的には個人だけではなく組織としてのインテグリティも高めながら、確固たる信頼関係を構築し、サステナブル企業として一体感のある「Team 大真空」を目指してまいります。

2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高40,000百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円を予測しております。なお、想定レートは145円/ドルです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしております。今後の I F R S（国際財務報告基準）の適用については、グローバル展開・内外の情勢等を踏まえながら検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,517,098	24,539,199
受取手形及び売掛金	9,514,449	9,646,343
契約資産	173,175	114,681
有価証券	39,854	—
商品及び製品	7,221,518	5,168,581
仕掛品	5,292,225	6,165,762
原材料及び貯蔵品	4,660,821	5,080,355
その他	1,301,442	1,661,378
貸倒引当金	△9,087	△13,835
流動資産合計	46,711,499	52,362,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,115,710	20,959,555
減価償却累計額	△16,982,831	△17,942,809
建物及び構築物 (純額)	3,132,878	3,016,746
機械装置及び運搬具	57,375,564	61,469,657
減価償却累計額	△44,305,708	△49,268,189
機械装置及び運搬具 (純額)	13,069,856	12,201,468
工具、器具及び備品	6,576,767	7,438,486
減価償却累計額	△5,426,445	△6,092,601
工具、器具及び備品 (純額)	1,150,322	1,345,884
土地	5,920,297	5,964,533
リース資産	1,000,153	992,673
減価償却累計額	△585,168	△764,009
リース資産 (純額)	414,984	228,664
建設仮勘定	6,896,838	8,830,349
有形固定資産合計	30,585,178	31,587,646
無形固定資産	1,184,714	1,236,891
投資その他の資産		
投資有価証券	2,812,160	2,925,984
長期貸付金	1,285	1,043
退職給付に係る資産	678,734	1,134,541
繰延税金資産	756,688	637,335
その他	919,991	1,206,512
貸倒引当金	△27,800	△27,800
投資その他の資産合計	5,141,060	5,877,617
固定資産合計	36,910,953	38,702,155
資産合計	83,622,452	91,064,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,827,047	2,617,382
短期借入金	2,361,569	2,376,990
1年内返済予定の長期借入金	9,658,529	11,629,640
リース債務	254,663	140,194
未払金	2,659,707	1,684,180
未払法人税等	976,237	479,574
契約負債	11	79
賞与引当金	800,654	713,786
その他	927,382	1,070,130
流動負債合計	19,465,802	20,711,960
固定負債		
長期借入金	18,390,443	19,776,032
リース債務	173,217	91,911
繰延税金負債	1,135,633	1,939,636
退職給付に係る負債	1,048,161	1,224,331
長期未払金	77,838	65,912
資産除去債務	27,837	28,304
その他	120,898	178,218
固定負債合計	20,974,031	23,304,347
負債合計	40,439,833	44,016,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	7,172,364	7,172,364
利益剰余金	6,500,970	7,473,320
自己株式	△1,929,648	△1,930,424
株主資本合計	31,088,569	32,060,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,069,484	1,257,965
為替換算調整勘定	3,318,351	4,916,324
退職給付に係る調整累計額	425,069	474,136
その他の包括利益累計額合計	4,812,905	6,648,425
非支配株主持分	7,281,144	8,339,745
純資産合計	43,182,619	47,048,314
負債純資産合計	83,622,452	91,064,623

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	38,430,954	39,343,676
売上原価	26,788,733	29,554,753
売上総利益	11,642,221	9,788,923
販売費及び一般管理費	7,432,201	7,653,642
営業利益	4,210,019	2,135,280
営業外収益		
受取利息	76,291	176,895
受取配当金	78,406	89,823
為替差益	809,247	1,295,672
その他	289,760	342,786
営業外収益合計	1,253,705	1,905,178
営業外費用		
支払利息	209,573	294,165
支払手数料	—	200,500
解約違約金	—	162,000
設備移設費用	—	95,105
その他	148,051	96,510
営業外費用合計	357,624	848,281
経常利益	5,106,100	3,192,178
特別利益		
固定資産売却益	13,607	67,206
投資有価証券売却益	46,631	988,103
特別利益合計	60,239	1,055,309
特別損失		
固定資産売却損	0	57,868
固定資産除却損	431	1,317
減損損失	38,102	65,206
特別損失合計	38,533	124,391
税金等調整前当期純利益	5,127,806	4,123,095
法人税、住民税及び事業税	1,431,647	671,375
過年度法人税等	—	73,418
法人税等調整額	145,886	499,683
法人税等合計	1,577,533	1,244,477
当期純利益	3,550,272	2,878,618
非支配株主に帰属する当期純利益	341,473	1,002,473
親会社株主に帰属する当期純利益	3,208,798	1,876,144

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,550,272	2,878,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△451,246	15,446
為替換算調整勘定	1,045,157	2,123,153
退職給付に係る調整額	△122,223	51,252
その他の包括利益合計	471,687	2,189,852
包括利益	4,021,959	5,068,470
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,615,755	3,711,665
非支配株主に係る包括利益	406,204	1,356,805

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,168,224	4,131,434	△1,928,693	28,715,849
当期変動額					
剰余金の配当			△839,263		△839,263
親会社株主に帰属する当期純利益			3,208,798		3,208,798
自己株式の取得				△964	△964
自己株式の処分		13		9	23
連結子会社株式の取得による持分の増減		4,126			4,126
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	4,139	2,369,535	△955	2,372,720
当期末残高	19,344,883	7,172,364	6,500,970	△1,929,648	31,088,569

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,287,673	2,551,740	566,533	4,405,948	7,109,218	40,231,016
当期変動額						
剰余金の配当						△839,263
親会社株主に帰属する当期純利益						3,208,798
自己株式の取得						△964
自己株式の処分						23
連結子会社株式の取得による持分の増減						4,126
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△218,189	766,610	△141,464	406,956	171,925	578,881
当期変動額合計	△218,189	766,610	△141,464	406,956	171,925	2,951,602
当期末残高	1,069,484	3,318,351	425,069	4,812,905	7,281,144	43,182,619

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,172,364	6,500,970	△1,929,648	31,088,569
当期変動額					
剰余金の配当			△903,793		△903,793
親会社株主に帰属する当期純利益			1,876,144		1,876,144
自己株式の取得				△776	△776
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	-	972,350	△776	971,574
当期末残高	19,344,883	7,172,364	7,473,320	△1,930,424	32,060,143

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,069,484	3,318,351	425,069	4,812,905	7,281,144	43,182,619
当期変動額						
剰余金の配当						△903,793
親会社株主に帰属する当期純利益						1,876,144
自己株式の取得						△776
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	188,480	1,597,973	49,067	1,835,520	1,058,600	2,894,121
当期変動額合計	188,480	1,597,973	49,067	1,835,520	1,058,600	3,865,695
当期末残高	1,257,965	4,916,324	474,136	6,648,425	8,339,745	47,048,314

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,127,806	4,123,095
減価償却費	3,993,066	3,941,284
長期前払費用償却額	76,167	76,467
減損損失	38,102	65,206
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△969	3,673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75,735	△87,019
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,000	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	41,368	△455,807
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△201,533	380,404
受取利息及び受取配当金	△154,697	△266,719
支払利息	209,573	294,165
為替差損益 (△は益)	252,538	36,421
投資有価証券売却損益 (△は益)	△46,631	△988,103
有形固定資産売却損益 (△は益)	△13,607	△9,337
有形固定資産除却損	431	1,317
売上債権の増減額 (△は増加)	951,019	905,934
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△213,946	1,689,166
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,497,969	△29,130
その他	100,537	183,490
小計	7,721,990	9,864,511
利息及び配当金の受取額	154,697	266,719
利息の支払額	△202,929	△291,571
法人税等の支払額	△1,813,914	△1,595,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,859,844	8,243,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△81,484	△179,002
定期預金の払戻による収入	—	84,042
有価証券の取得による支出	△40,675	—
有価証券の売却による収入	—	44,463
有形固定資産の取得による支出	△5,808,475	△4,498,628
有形固定資産の売却による収入	28,812	143,095
無形固定資産の取得による支出	△712,411	△386,449
投資有価証券の取得による支出	△9,799	△10,131
投資有価証券の売却による収入	81,249	1,061,703
貸付けによる支出	△480	△620
貸付金の回収による収入	625	1,020
その他	17,745	△254,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,524,893	△3,994,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△973,025	△345,163
長期借入れによる収入	10,575,480	12,880,000
長期借入金の返済による支出	△6,687,622	△10,085,961
リース債務の返済による支出	△106,388	△210,941
配当金の支払額	△834,489	△901,116
非支配株主への配当金の支払額	△674,472	△231,717
自己株式の売却による収入	23	—
自己株式の取得による支出	△964	△776
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,298,540	1,104,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△712,915	564,488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△79,424	5,917,879
現金及び現金同等物の期首残高	18,516,683	18,437,258
現金及び現金同等物の期末残高	18,437,258	24,355,138

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産のうち、貯蔵品に係る評価方法は、従来、最終仕入原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用していましたが、第3四半期連結会計期間より、総平均法に基づく原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この評価方法の変更は、第3四半期連結会計期間からの新基幹システムの導入を契機として、これに適する棚卸資産の評価方法を採用したことによるものであります。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものであります。

当社グループは、水晶応用電子部品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、欧州、中国、台湾、アジアの各地域をDAISHINKU(AMERICA)CORP.（米国）、DAISHINKU(DEUTSCHLAND)GmbH（欧州）、大真空（香港）有限公司（中国）、天津大真空有限公司（中国）、加高電子股份有限公司及びその子会社（台湾）、DAISHINKU(SHINGAPORE)PTE. LTD.（アジア）、DAISHINKU(THAILAND)CO., LTD.（アジア）、PT. KDS INDONESIA（アジア）が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「台湾」及び「アジア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	8,134,899	1,755,999	3,654,095	13,042,475	9,066,248	2,777,236	38,430,954	—	38,430,954
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,134,899	1,755,999	3,654,095	13,042,475	9,066,248	2,777,236	38,430,954	—	38,430,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,513,681	51,069	9,746	4,362,702	2,765,750	6,780,264	36,483,215	△36,483,215	—
計	30,648,580	1,807,068	3,663,842	17,405,177	11,831,999	9,557,501	74,914,170	△36,483,215	38,430,954
セグメント利益	2,780,712	2,307	52,890	538,980	658,520	220,808	4,254,219	△44,199	4,210,019
セグメント資産	48,925,502	957,853	1,471,131	10,961,290	25,886,795	7,664,979	95,867,552	△12,245,099	83,622,452
その他の項目									
減価償却費	1,405,373	305	3,712	170,472	1,287,534	716,734	3,584,132	△20,098	3,564,034
減損損失	—	—	—	—	38,102	—	38,102	—	38,102
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,371,138	44,386	6,412	243,420	1,553,969	1,015,677	6,235,004	△4,942	6,230,062

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△44,199千円には、セグメント間取引消去17,556千円、その他の調整額△61,756千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△12,245,099千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△11,494,285千円、その他の調整額△750,814千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	7,781,320	2,405,202	3,833,725	12,300,895	10,342,263	2,680,269	39,343,676	—	39,343,676
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,781,320	2,405,202	3,833,725	12,300,895	10,342,263	2,680,269	39,343,676	—	39,343,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,444,427	49,808	1,224	3,037,458	2,748,482	7,317,234	34,598,637	△34,598,637	—
計	29,225,748	2,455,011	3,834,949	15,338,354	13,090,746	9,997,504	73,942,314	△34,598,637	39,343,676
セグメント利益	116,550	16,904	20,910	△55,266	1,086,041	493,515	1,678,655	456,625	2,135,280
セグメント資産	52,452,147	1,103,557	1,412,156	11,722,743	29,086,839	8,330,420	104,107,864	△13,043,241	91,064,623
その他の項目									
減価償却費	1,218,201	12,794	5,401	181,615	1,269,363	795,127	3,482,503	△20,082	3,462,420
減損損失	13,353	—	—	—	51,852	—	65,206	—	65,206
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,205,128	8,143	307	32,596	310,872	94,729	3,651,777	—	3,651,777

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額456,625千円には、セグメント間取引消去△41,363千円、その他の調整額497,988千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△13,043,241千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△12,669,069円、その他の調整額△374,171千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 - (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,112.24円	1,199.24円
1株当たり当期純利益金額	99.41円	58.12円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,208,798	1,876,144
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	3,208,798	1,876,144
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,279	32,278

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	43,182,619	47,048,314
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	7,281,144	8,339,745
(うち非支配株主持分) (千円)	(7,281,144)	(8,339,745)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	35,901,474	38,708,569
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	32,278	32,277

(重要な後発事象)

該当事項はありません。